

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）研究成果報告書

平成25年5月31日現在

機関番号：17301
研究種目：挑戦的萌芽研究
研究期間：2012～2012
課題番号：24652142
研究課題名（和文） 幕末・明治期日本古写真グローバル・メタデータ・データベース標準モデルの研究
研究課題名（英文） Study of the standard model of global metadata database of old Japanese photographs taken in Bakumatsu-Meiji period
研究代表者
姫野 順一（HIMENO JUNICHI）
長崎大学・水産・環境科学総合研究科・教授
研究者番号：00117227

研究成果の概要（和文）：本研究課題では、複数の機関が収蔵する日本古写真を登録するためのグローバル・メタデータ・データベースの標準モデルを開発するとともに、在外日本古写真コレクションの所蔵機関と同データベースの共同構築について協議し、同データベースの実現に必要な技術的・組織的な条件を整備した。

研究成果の概要（英文）：This study have prepared the technical and organizational requirements for building the global meta - database of old Japanese photographs stored in various institutions by developing its standard model and discussing with overseas institutions about the collaboration for its realizing.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
交付決定額	2,600,000	780,000	3,380,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：史学・日本史

キーワード：史料研究

1. 研究開始当初の背景

写真は、開国後間もない日本の姿を欧米に伝えるメディアとして幕末に伝来し、国内で撮影された最初期の写真は、幕末の日本情報として、欧米に伝播した。さらに、明治になると、写真は、日本の「お土産写真アルバム」として商品化され、海外に向けて大量に輸出された。幕末・明治期の日本古写真は、現在、世界各地の博物館や図書館に点在している。

こうした在外日本古写真の総合的なデータベースの必要性は、EAJRS（日本資料専門家欧州協会）の2003年次総会でJ.デュボア氏により提案され議論されたほか、姫野が2007年の古写真研究国際研究集会「イメージの中の国際交流」（長崎大学附属図書館主催）

で提起し、日本古写真研究者のT.ベネット氏やH.ムースハルト氏がその著書でつとに指摘するところであるが、いまだ実現していない。

また、姫野（三菱財団助成研究2010年3月）や下田（科研費奨励研究2010年11月）による調査の結果、在外日本古写真の電子化とインターネット公開は、いずれの所蔵機関においても、今後の課題として残されていることが分かった。

世界最大の在外日本古写真コレクション（約18,000点）を有するフランス国立ギメ東洋美術館も、例外ではなく、大型コレクションの受入（2007～2009年）から間もないことや、専任の担当者がいないこともあり、日

本古写真の電子化とインターネット公開は緒についたばかりである。

一方、「幕末・明治期日本古写真メタデータ・データベース」に代表される長崎大学附属図書館の古写真データベースは、1998年の公開以来、200万件を超えるアクセスがあり、国内外における日本古写真の研究と普及を先導してきた。

こうした背景と実績により、長崎大学附属図書館は、フランス国立ギメ東洋美術館に対して、日本古写真のグローバル・メタデータ・データベース構築に向けた相互協力を提案した。

2. 研究の目的

本研究は、世界各地に点在する日本古写真を対象とするグローバル・メタデータ・データベースの構築を最終目的とする。このようなデータベースを構築することにより、次の(1)～(3)の効果が期待される。

(1) 画像やキャプション等の類縁性によって、様々な面での古写真間のつながりを示し、個々の古写真の出自や来歴や系譜「イメージ・コンテキスト」を明らかにすることにより、従来軽視されがちであった歴史資料としての古写真の価値が高められる。

(2) 日本古写真同定のグローバル・スタンダードを提供することで、従来困難であった在外日本古写真の整理・分析が格段に容易になり、世界各地に点在する日本古写真の発掘及び電子化とインターネット公開が促進される。

(3) これまで顕在化することのなかった日本古写真の情報を系統的に発信することにより、国内外の日本研究や日本の近代化に対する関心が再活性化される。

本研究課題では、「幕末・明治期日本古写真グローバル・メタデータ・データベース」を実現するために必要な技術的及び組織的な条件を満たすために、次の(1)～(3)を行う。

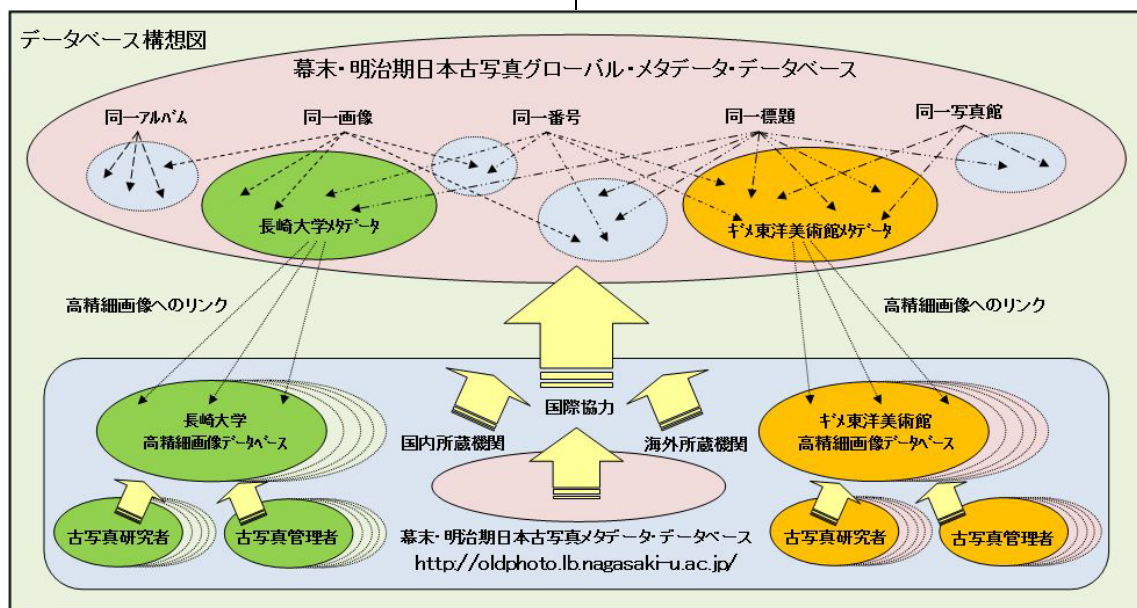
(1) 世界最大の在外日本古写真コレクションを有するフランス国立ギメ東洋美術館と共同で、長崎大学附属図書館の「幕末・明治期日本古写真メタデータ・データベース」(<http://oldphoto.lb.nagasaki-u.ac.jp/>)を基礎に、グローバル・メタデータ・データベースの標準モデルを開発する。

(2) そのなかで、個々の古写真画像を、関連する古写真群の中に位置づけ、動的に文脈づけて表示する方法を開発する。

(3) さらに、未調査の在外日本古写真コレクションを調査し、グローバル・メタデータ・データベースを形成するための方策について、各所蔵機関と協議する。

こうして長崎大学附属図書館(約6,800点を電子化公開)とフランス国立ギメ東洋美術館(約18,000点を所蔵)の日本古写真コレクションを総合するメタデータ・データベースの標準モデルを開発することにより、それを世界規模に広げるための道筋が開かれる。

3. 研究の方法



幕末・明治期に撮影された写真は、営業時期や場所を異にする[写真館]の間で、原板の売買や交換、複製が行われたことから、同一原板の写真に異なる[整理番号]や[原標題]が表示されていることが少なくない。また、幕末・明治期の写真に対しては、著作物という意識が薄く、詳細な出版事項を表示ということが稀で、[写真館]の間で原板の売買や交換、複製が行われたという事実は、この時代の写真の出自確定を混乱させる。さらに、現在、古写真を所蔵する機関では、[原標題]とは異なる[現標題]を与えることが多い。こうしたことが古写真の書誌記述の標準化を困難にしている。

したがって、現在、国内外に保存されている日本古写真の「イメージ・コンテキスト」を実証的に解明するには、原板[画像]の同定のみならず、[写真館]が与えた[整理番号]や[原標題]を核とする一連の情報を収集・整理・分析することが不可欠である。

この方面の先行研究として、T. ベネット氏作成の「お土産写真アルバム - 番号リスト」(Old Japanese Photographs: Collectors' Data Guide by Terry Bennett, 2006, pp. 122-160)がある。これは、幕末・明治期の日本古写真を書誌的に記述するための原理的な手法を示したと言えるが、[写真館]ごとの[整理番号]と[原標題]のリストであり、[画像]や[彩色の有無]、[収載アルバム]等の情報がリンクされていない。

本研究課題では、これに[画像]や[現標題]、[彩色の有無]、[収載アルバム]等に加え、古写真の書誌データ(メタデータ)要素セットとし、書誌データ間の類縁性によって、個々の写真の「イメージ・コンテキスト」をデータベース上で動的に辿れるようにする。

また、日本古写真のための[標準メタデータ要素セット]を提案し、長崎大学附属図書館の「幕末・明治期日本古写真メタデータ・データベース」を基礎に、グローバル・メタデータ・データベースのプロトタイプを開発する。

こうして、外延的には、世界規模の総合目録データベース構築を目指すとともに、内包的には、個々の画像を文脈づける具体的な方法を開発して、標準モデルを確立する。

4. 研究成果

本研究課題では、「幕末・明治期日本古写真グローバル・メタデータ・データベース」

の標準モデルを開発するとともに、在欧日本古写真の調査を行い、フランス国立ギメ東洋美術館との間で、同データベースの共同構築に向けた協力関係を確立した。より広く具体的には、以下の成果を得た。

(1) 複数の所蔵機関が所蔵する個々の古写真を記述するための標準的なメタデータ要素セットを設計した。

(2) 各所属機関からインターネットを介して古写真画像及びメタデータを収集し編集するためのツールを開発した。

(3) 古写真を文脈づけるためのメタデータ要素(画像、番号、標題、アルバム、写真館)を設定して、各要素により古写真を文脈づけて表示するための検索機能を開発した。

(4) フランス国立ギメ東洋美術館と長崎大学附属図書館の間で、日本古写真分野における学术交流協定を締結し、「幕末・明治期日本古写真グローバル・メタデータ・データベース」を構築するうえで中心となる協力関係を確立した。

(5) パリ市内の日本古写真コレクションを調査するなかで、1874年の金星太陽面通過を長崎の金比羅山で観測したフランス隊撮影の写真アルバムがパリ第5大学(旧薬学部)の図書館に所蔵されていることを「発見」した。



金比羅山の観測小屋の反射鏡と望遠鏡

(6) オランダ・ライデン大学附属図書館が有する在オランダ日本古写真コレクションのデータを調査するとともに、日本古写真分野における相互協力について協議し、協力関係確立のための基本的合意に達した。

(7) ロシア国立エルミタージュ美術館が所蔵する日本古写真の情報を入手し、今後における相互協力の進め方について協議した。

以上により、「幕末・明治期日本古写真グ

ローバル・メタデータ・データベース」の構築に必要な技術的・組織的な条件が整った。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[学会発表] (計1件)

姫野順一「初期上野彦馬の作品と作風」日本芸術写真学会, 2013年6月15日東京工芸大学

[図書] (計1件)

姫野順一 (2013) 『古写真に見る長崎の幕末・明治』 明石出版

[その他]

ホームページ等

下田研一 (2012)「在外日本古写真調査報告：古写真データベースのグローバル化に向けて」和華蘭の窓 117, 10-11. (<http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/about/kanpo/pdf/kanpo117.pdf>)

なお、本研究課題で開発した「幕末・明治期日本古写真グローバル・メタデータ・データベース標準モデル」は、長崎大学附属図書館とフランス国立ギメ東洋美術館の共同プロジェクトとして、さらに改良を加え、平成25年度中にインターネット上で公開する予定である。

6. 研究組織

(1) 研究代表者

姫野 順一 (HIMENO JUNICHI)

長崎大学・水産・環境科学総合研究科・教授

研究者番号：00117227

(2) 研究分担者

()

研究者番号：

(3) 連携研究者

才津 祐美子 (SAITSU YUMIKO)

長崎大学・水産・環境科学総合研究科・准教授

研究者番号：40412613

安武 敦子 (YASUTAKE ATSUKO)

長崎大学・工学研究科・准教授

研究者番号：60366432

針貝 綾 (HARIKAI AYA)

長崎大学・教育学部・准教授

研究者番号：70342425